

不気味だったサイズは何とか沈静しつつあるようです。木々の緑が深さを益して、紫陽花や菖蒲が鮮やかです。

今年の週間天気予報では傘と雲印がずらりと並び、いかにも梅雨らしい年ですね。梅雨の晴れ間の陽差はもう夏。何時の間にか日陰を探しながら歩いています。

カシミア・フェアー二年目のシーズンが始まりました。営業の上坂にとっては始めてのシーズンながら、何回かの先物受注フェアーを経験して調子が上がってきたようです。楽しいカシミア・フェアーをやりましょうよ。

＊本のお勧め＊たまに手作り料理を「馳走してもらっているカミさんの友人の料理研究家、松田万里子さんの『ライパンで切り身魚料理』(文化出版局) ¥1500・小人数家族や一人住まいの人にとっても便利な一冊。
友人の会社が出した『買って！買って！病・24の処方箋』(主婦と生活社) ¥1200・という子供のお金の帳にまつわる本。

【サイズサンプルをご用意しました】

『貴方の希望のサイズでおつくります』はUTOの大きな特徴の一つですが、採寸が結構難しい。そこで基本的なサイズのサンプルを作りました。バストサイズに含ませて試着してもらえればOK。その後は袖丈や着丈の採寸は簡単です。バスト76センチから116センチまで8サイズをご用意しました。

【思ってたのと違った時どうするの?】

もちろん作り直すか返品をお受けします。楽しみにして頂いていたのに期待に添えなくて申し訳ないですが、全て完璧というわけにはいきません。『お客様の注文で作ったんですから』と無理強いはいしないで下さい。

【不況、収縮の時代へ向かって】

景気の良いとき、マーカーが拡大している時、業績が伸びている時は気分もワクワクして何事にも前向きで挑戦的です。一方、逆の状況では気分も沈みがちでどうしても安全守りの方法を選んでしまいがちです。景気の気とは気分のこと。不景気とは、みんなの気分が後ろ向きなんでしょう。結果が現れないから気分が沈んでいるのか、気分が



さくら

沈んでいるから結果が出ないのか。逆に考えてみませんか? みんなの気分が消極的だから不景気なんだと。こんな時だからこそ前向きに、攻撃的に挑戦的に。そりゃ、きついですがね。良いときの何倍もの気力と勇気が要ります。でも、無い無いづくめで始めた時は今よりもっともってハンドを負っていたんですから。

大人の可愛さ



No.1221 長袖 ¥35,000-

ラグランスリーブに大き目に開いた襟のヒモをちょっと締めると胸元のヒダヒダが大人の可愛さを引き立ててくれます。

カシミアならでの色遊び



No.1224 半袖 ¥32,000-

タートルの襟元、袖と裾の配色がポイントです。カシミア100%でここまで遊んだら最高の贅沢。貴方の好きな色で配色を組んで作りませんか?

これぞお上品カシミア



No.1212 ¥35,000-

ウールの王様カシミアと毛皮の王様ミンクのベストコラボレーションです。ラウンドネックから覗いたリブの衿にまあいいミンクのボンボリでスポーティなエレガンスを表現しました。

【南青山界限】

骨董通りは、青山の『丘の上通り』



UTOに自転車がやってきました。ちよっとした用事にとっても便利、2駅ぐらいはかるいものです。

無印で買ってきたエコカーはこのビル小さなエレベーターにも乗り、オフィス7階のエレベーターホールの隅に入ります。これなら歩道に放置して通行人に迷惑を掛けることもありません。
『ディスプレイみたいだね』といってくれる人もあるくらいピタリ嵌まっています。

自転車で走り回るまではあまり気がつかなかった東京の地形ですが、この青山付近は結構坂が多いんです。

日本で一番広い関東平野と中学の頃に教わって以来、東京はなんとなく平べったいイメージがありました。関東平野の地図では東京の殆どが平地の表示ですからね。

港区で一番低い所にあるのが海岸沿いの新橋、浜松町、芝浦辺り。日の出桟橋もあります。海を背に新橋から外堀通りを虎ノ門・赤坂見附までほぼ平坦です。
その間にある溜池は地名のとおり、400年前家康が江戸に都を作り始めた頃は、霞ヶ関から赤坂まで広がる大きな池で新橋の方から海に繋がっていたようです。

赤坂見附から渋谷に向かって青山通りはずっと上り坂で、ここ南青山5、6丁目辺りから宮益坂辺りまでが一番高いところでしょうとした丘の頂きになっています。
宮益坂から下りで下りきった所が渋谷の駅。

青山通りの下を走ってきた地下鉄・銀座線が東急百貨店の3階に着きますから、相当に下っているんですね。渋谷を過ぎると道玄坂の急な上りになります。

江戸時代、ここは原宿の方から渋谷川が流れていたように、明治通りはこの川に沿っている、というよりその川が道路になったようです。とするとその川の水はどうなっているんでしょう?

骨董通りは丘の尾根辺りでほぼ平坦ですが、外れの富士フィルムの本社がある高樹町からは右・渋谷、左・麻布へと下ります。

北の方向へは原宿に向かって下っています。たまに、原宿から歩いてこられる方がいらつしやいますが、例の表参道のケヤキ並木の通りは原宿から表参道まではずっと上りなんです。

もうひとつ自転車に乗るようになって気が着いたことは、この街の造りはあくまでも車と歩行者を想定して造りがされて自転車では走るのははとつても不便なことなんです。
ちなみにここから青山通りの青山学院側を通ったら、車道を通らなければ途中の陸橋を自転車では担いで渡らないと渋谷には行き着けません。

* ニットの話 * (九)

糸いろいろ

一グラムのわたをメートル紡いだら一番手の糸

素朴な疑問ですが、糸ってなんでしょう？

糸とは、『ある程度の長さで細さの繊維を束ねて撚りをつけて長くしたもの』かな？

実は正式な定義がないそうなんです。

一般に糸より太いものを紐(ヒモ)と呼んでいるし、縄はもっと太い。でもその太さが糸で、どこからヒモになるのかはわかりませんね。

ニットに関係するのは糸。せいぜいヒモまで。ヒモといえど、10年ぐらい前、ルーバーンというヒモでニットの編んだのが流行ったことがありますね。

糸の原料である天然繊維は一本一本はそんなに長くはありません。カシミア原毛の長さは10〜90ミリ、かなりのばらつきがあり平均して40ミリ前後、ウールで一番長い羊でもせいぜい100ミリぐらいです。綿でも30〜40ミリで超長繊維と呼ばれます。

繊維のかたまりが『わた』。その繊維を束ねて撚りをかけるとひっぱっても抜けませんね、これが『紡ぐ』ことで、わたから糸にする作業です。

UTOがメインで使っている糸はカシミア100%の26番糸という糸です。ニジュウロクパンというのは糸の番手のことで、どのくらいの細さの糸かを表します。

そこで番手です。ウール番手は(綿番手は違いますが)ウールのわた1gを1メートル引いて撚りをかけたのが1番手の糸(実際は撚りをかけながら引く)ですから、26番手とは1gの糸を26メートル引いて撚りをかけた糸ということなんです。

1gのわたを26メートルとは頭では理解できませんがなかなか現実味がありませんね。しかし東洋紡糸さんで実際に職人さんが、1gのわたを26メートルに手で紡いでいるのを見せていただきビックリしました。まさに匠の技です。

撚りをかけた糸を巻き取り暫くすると糸は安定してきます。

先ほどの糸は詳しく言うと26番単糸です。もちろんこの糸でセーターを編むことは出来ませんが、この糸にもうひとつ手を加えます。それが双糸(ソウシ)加工です。上撚りと下撚りの2本の糸で撚りを消

合って安定した糸にするんです。26番の糸が2本撚り合わさっていますから太さは13番単糸の太さです。

違った色の糸を撚りあわせる事で複雑な色の空(モノ)糸を作ることが出来ます。3本を撚り合わせた糸のことをミツコとかミコと呼んでいます。

『カシミアは本場の英国が一番良い』とおっしゃる方がいますが、私は？です。

一流どころの原料は英国も日本もほぼ同じで糸の作り方が違いそれぞれ一長一短があります。

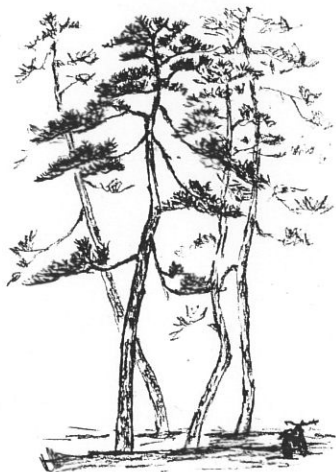
伝統的に英国は単糸を使うケースが多いようですが日本は双糸が主流です。

同じ番手の糸なら単糸の方が膨らみ感があります。が、ピリング(毛玉)や斜向が発生しやすい特徴(欠点)があります。英国人は気にしないようですが、日本では斜向したセーターはすぐ返品です。

一方双糸の方は、膨らみ感も単糸の方に歩がありますが、編地がきれいでも斜向やピリングは出来にくいという特徴があります。

この頃は英国の多くのメーカーも双糸も使うようになってきました。どっちが優れているとよ、どんなセーターを作るかでしよう。

ただ云えるのは、細い糸を引く為には太い糸より繊維の細さと長さを要求されることは確かです。ので、私見としては双糸の方がグレードの高い原料を使っていると思っています。



忙中暇話・ニット屋のたわごと

コンピュータ
ウィルス騒動

六月のある日のことです。メー

ルを送ろうとしたらエラー表示が出て送れないんです。何回トライしても繋がらないので仕方なくプロバイダーに連絡すると、パソコンにはいっているウィルスソフトが原因だから一度外してもう一度接続してくださいとのこと。

ウィルスソフトの説明書をつき張り出して何とかソフトを外そうとしますが、説明書通りにやってもダメなんです。

ソフトメーカー、シマンテックのカスタマーセンターの電話は話中で全然繋がらない。結局午後いっぱいやって繋がりませんでした。もう終了したから明日電話しようという。

翌日、友人のキミタ君から電話です。彼は太田研一主催のアタッカーズ・ビジネススクールでの同期でコンピュータ関係のベンチャー企業を立ち上げているプロなんです。

『キミタさん、パソコン、ウィルスに感染してませんか？』エエツツ、まさか？。それが原因でウィルスソフトが影響されて動かないんか？

『ウィルスなら他の人に迷惑かかるかも』と危惧していると、もう一人から電話が入りました。

『最悪の事態になったかも・・・私のメールアドレスのリストにウィルスが次々と送り出されているに違いありません。とにかく接続を切って一刻も早く皆に連絡しなければ。』

『来ていたよ！ウィルスソフトが対応して削除した！』『来てないよ！大変だね』『もし届いたら添付は絶対開けないでね！』『中には電話が通じない人がいてやきもきします。シマンテックにやつと繋がりましたが、不慣れな自分にとっては気が遠くなる作業です。格闘しながらこの間にも誰かに迷惑を掛けていると思うと気が重いです。』

作業がつかつかえてキミタ君に電話すると、様子を探して『行きましようか？』すかさず『お願いします』。地獄に仏です。待つ間にも電話『開けちゃいました』。とうとう一人犠牲者が出たんです。『でも大丈夫、対応出来ます』と明るく応えてくれて安心するやら申し訳ないやら。重く気分です。

一時間後、キミタ君が到着。作業に取り掛かって約一時間後、私のパソコンは完全に復旧し、通じたメールでリスト全員に『気を付けてメール』を打ちます。『何とか間に合ってくれ！』と祈る気持ちです。

翌日、メールを開けると返事メールがズラッと並んでいます。のんきに『久しぶり！』とか『来てた、来てた。捨てたから心配しないで』『わさわざありがと』『の返事。一件以外は何とか事なきを得たようです。』

今回痛い思いをして、知人のメール、特に添付資料には気をつけること、ウィルスソフトは入れた後もこまめに更新して最新のウィルスに備えることの大事さを思い知りました。皆さん、お騒がせしてすみませんでした！

そしてキミタ君、本当に有難う。

世界のホテルを旅する(九) 元、旅行屋のお勧め

ホテル
ゴールデンサンズ

ペナン島はマレー半島とスマトラ島の間のマラッカ海峡に浮かぶ島で、イギリスの東方貿易の中継点として発展した処です。

ホテル ゴールデンサンズはこの島の中心のジョージタウンから三十分。マラッカ海峡を一望する海岸に沿ったリゾートホテルで、両手を広げた様な半円形の白い建物。全室オーシャンビューです。

屋根がマレー風の、最高級のホテル ラサヤンと庭で繋がっていて、いつもこっちの方に人入り。寝る時はやっぱり隣のゴールデンサンズへ帰る。二つのホテルを二つに使うあつかましい客でした。

街までは車で一息です。仕事での出張でもこみこみした街中に泊まるよりここから仕事に行くのを選びたいですね。

イギリスの統治時代の建物が残るジョージタウンは、西欧と中国とマレーシアが混ざった街で、市内観光には自転車の前に座席を付けた人力タクシーのトライシヨが一番。

皆懸命に呼び込みをしている溜まり場で、どれにしようかな。若者はいつでも仕事があるだろうから、一番年配のおじさんに乗ってあげよう、気の弱そうなおじさんの処へ。

そんなに高い金額ではなかったと思いますが、『必ず値切らないでダメ』と現地のガイドさんに言われていたの、おじさんの言った値段の半分を言って、結局最初の七割の値段で交渉成立。

イザ出発！前に運るものがあるから眺めはバツグン、自転車が切る爽やかな風。これは快適です。

暫く走って、信号で止まるとなかなか走り出しません。後ろの車からクラクションを鳴らされます。

あれー！と思っておじさんを見るとびっしょりの汗です。まだ十五分も経っていないのに思いながらも、なんだか自分の父親に近い年寄りを苦勞させているような気がしてきて、観光どころでは無くなってしまいました。

仕方なく暫く走って、屋台の飲物屋さんの前でジュース・ジュース！と言ってストップ。

おじさんにも一本渡してもうここでもいいと言うとおじさんはお金を返そうとします。

いらないと言うと不安な様子だったけど、にっこり笑ってサンキューと言って去って行きました。よたよたの後ろ姿を見送ってホッとしました。

良かったのか悪かったのか、複雑な気分のジョージタウンの観光でした。

